

## I T活用社会科学学習指導案

作成者 教育センター指導主事

1. 校 種 小学校

2. 学 年 第5学年

3. 教科等 社会科

4. 単元名 わたしたちの生活と工業生産

5. 単元の指導計画（総時数22時間）

第一次 自動車をつくる工業 . . . . .（11時間）

第二次 工業生産と工業地域 . . . . .（6時間） . . . 本時（1／6）

第三次 工業生産と貿易 . . . . .（5時間）

6. 本時の学習

(1) 題 目 日本の工業の変化

(2) ねらい

日本国内の工場数が減少していることを資料から読み取り、その理由を予想することができる。 **【技能・表現】**

3つの資料から読み取った事実をもとに、日本国内の工場数の減少理由を考えることができる。 **【思考・判断】**

(3) I T教材を使う意図

「国内の工場数の変化」「工場立地数と製造業の企業倒産の数の変化」「日本の現地生産工場の数の変化」の3つの資料から読み取った事実をもとに、社会的事象の意味を考察させる。

そのためには、まず資料の読み取り方をていねいに指導する必要がある。

そこで資料1は、表題や横軸の単位をマスキングしておき、クイズ形式で考えさせる。また少しずつグラフを見せていくなど、児童が注意深く読み取ることができるように提示する。

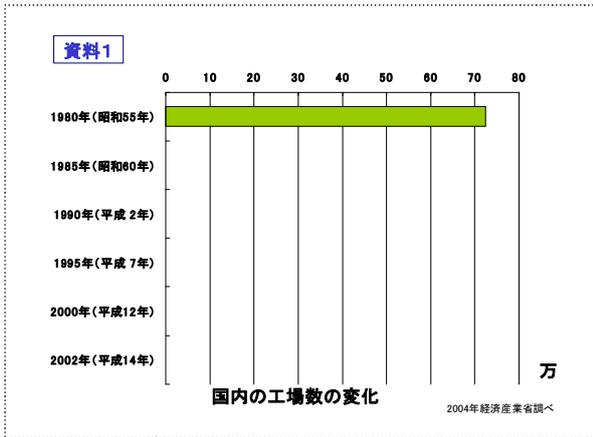
また資料2・3は、問題を解決するという意識を高めるため、企業倒産の増加や現地生産工場数の増加に目が向くように提示する。

(4) 使用ソフト Microsoft 社 PowerPoint2002

(5) 展 開

欄	学習過程	児童の学習活動	支 援	評価規準
展 開	37分 2 資料1を読み取り、課題をつかむ	○資料1「国内の工場数の変化」のグラフを読み取る ・工場数は減っている	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ・表題や横軸の単位をマスキングしたり、少しずつグラフを見せていくなどして、注意深く読み取ることができるように提示する ①                 </div>	<p>【技能・表現】 日本国内の工場数が減少していることを資料から読み取り、その理由を予想することができる（ノート）</p> <p>【思考・判断】 3つの資料から読み取った事実をもとに、日本国内の工場数の減少理由を考えることができる。（ノート）（発言）</p>
	なぜ国内の工場数が減少してきているのか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導をしながら、予想が書けない児童に支援を行う</li> <li>・2～3人で予想の情報交換をした後、全体場で発表する</li> </ul>	
	3 資料2、3を読み取り、課題解決を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>○予想をノートに書く</li> <li>・倒産</li> <li>・外国に工場</li> <li>○予想を発表する</li> </ul> <p>○資料2「工場立地数と製造業の企業倒産の数の変化」、資料3「日本の現地生産工場数の変化」を提示のグラフを提示し、考えられることをノートに書く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○考えを発表し、工場数が減少している理由について話し合う</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ・問題を解決するという意識を高めるため、企業倒産数の増加や、現地生産工場数の増加に目が向くように少しずつグラフを提示する ②③                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導をしながら、予想が書けない児童に支援を行う</li> <li>・2～3人で考えの情報交換をした後、全体場で発表する</li> </ul>	
	日本の国内の工場数が減少してきているのは企業が倒産したり、外国に工場をどんどん作っているからだ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く人が□人以上が大工場</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ・資料をもう一度提示した後、規模別のグラフに切り替え、大工場が少ないこと、中小工場の減少が多いことに気づくようにする ④                 </div>	
5分まとめ	5 次時の学習について知る	○中小工場について調べよう		

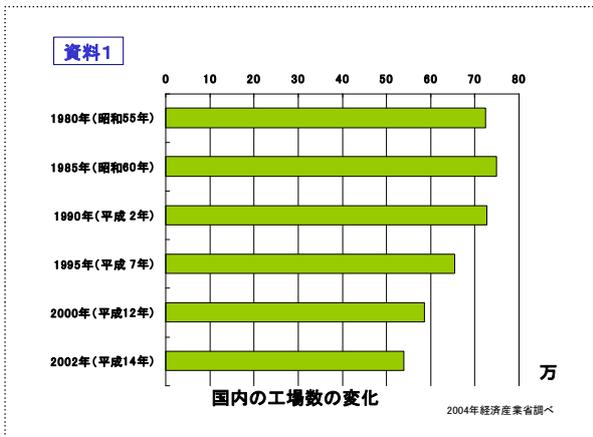
(6) IT教材の説明



①について

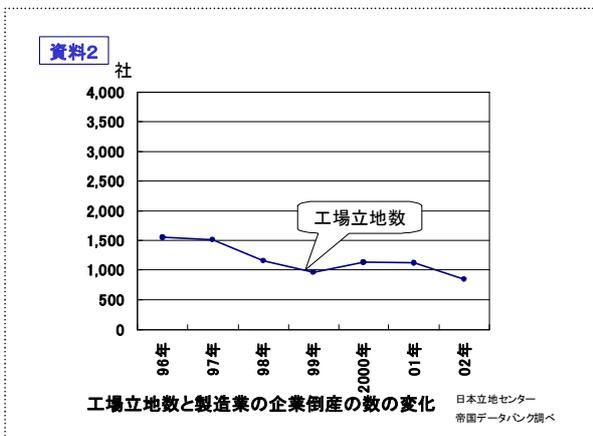
注意深く、興味を持って読み取ることができるように以下の順でグラフを提示する。

- ・まず 1980 年のグラフを提示し、当時の工場数であることを知る。
- ・次にマスキングしていた横軸の単位を提示し、工場数を確認する。
- ・縦軸の目盛りを確認し、タイトルを提示し、変化を表すグラフであることを確認する。



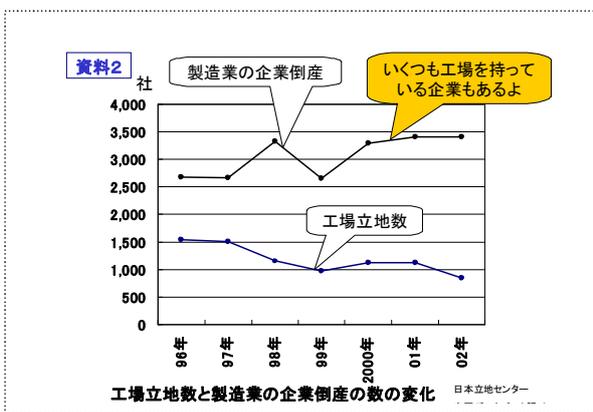
①について

- ・グラフを少しずつ提示し、工場数の減少に目がいくようにする。
- ・提示後、「なぜ工場数が減少しているのか」予想する。



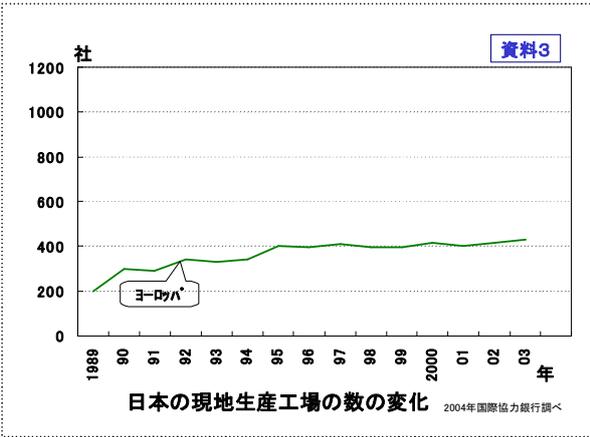
②について

- ・まず工場立地数の折れ線グラフを提示し、減少傾向にあることを確認する。



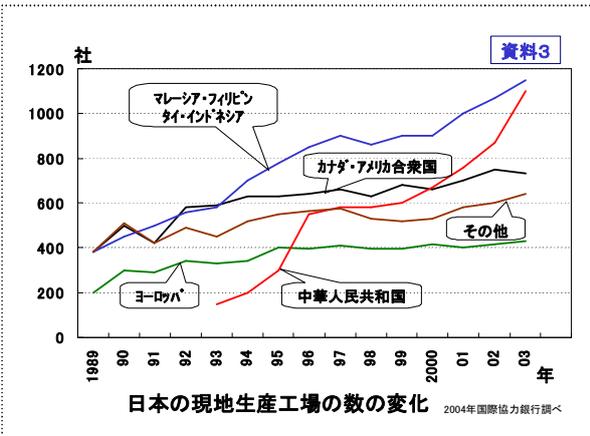
②について

- ・次に製造業の企業倒産数のグラフを提示し、増加傾向にあることを確認する。
- ・1996 年には、製造業の企業倒産数が工場立地数の 2 倍弱だったのに、2002 年には 4 倍近くになっていることを確認する。
- ・いくつも工場を持っている企業があるので、実際には、工場がなくなっている数はもっと多いことを確認する。



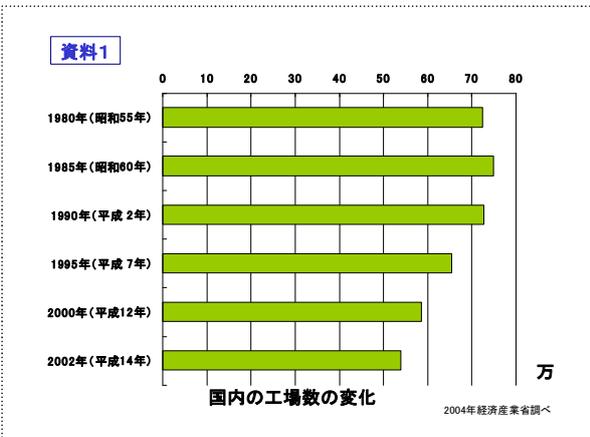
③について

- ・まずグラフタイトルに注目させ、現地生産工場の変化を表すグラフであることを確認する。
- ・次にヨーロッパのグラフを提示し、増加傾向にあることを確認する。



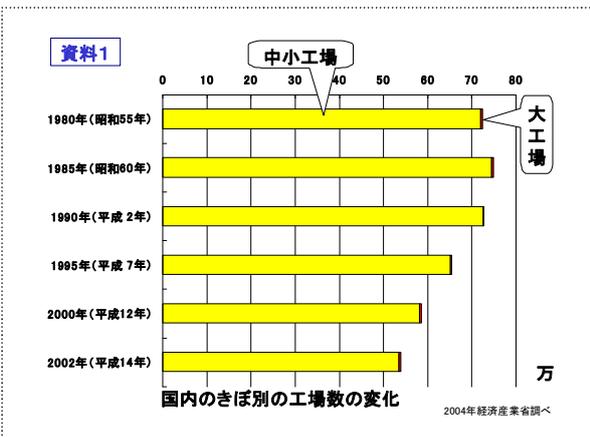
③について

- ・マレーシア、アメリカ、中国、その他のグラフを提示し、いずれも増加していることを確認する。また、中華人民共和国の増加が著しいことにも着目させる。
- ・資料1・2・3から「なぜ工場数が減少しているのか」考えさせる。



④について

- ・もう一度、資料1「国内の工場数の」変化のグラフを提示する。



④について

- ・工場は中小工場と大工場に分けられることを知った後、画面を中小工場・大工場別のグラフに切り替え、黄色がどちらか予想させる。
- ・中小工場、大工場の文字を提示し、「ほとんどが中小工場であること」「大工場は減少していないが、中小工場は減少していること」を確認し、次時は中小工場について調べることを知らせる。